

団塊シニア世代!! セカンドデビューのすすめ

Vol.

11

2015.03

なが
さき

ダンカーズ

最終号

★★★★★★★★★ Baby-boom generation! Recommendation of the second debut.



特集 ながさきダンカーズ特集掲載団体

「一人はみんなのために、みんなは一人のために」。
ただ今“夢実現街道”まっしぐら!

●まちなかダンカーズ

「ギャラリー EM (Gallery EM)」

代表 西村江美子さん

●ダンカーズしよっと/富永ミユキさん、松本愛治さん 宮本洋子さん、松尾信之さん

講座・イベントお役立ち情報

ダンカーズチョイス

- ・浦上天主堂再現プロジェクト
- ・地域で子育て応援 ファミリーサポート
ながさき「まかせて会員」募集!!
- ・ノルディックウォーク教室受講生募集!
- ・未来の子どもたちに平和な地球を!
～ながさきピースミュージアム～
- ・長崎の町ねこ調査隊塾(会員募集)
- ・長崎出逢いのよつ葉会(会員募集)
- ・小さないのちと幸せを守る会(会員募集)
- ・ながさきダンカーズ倶楽部(会員募集)
- ・集まれ!飛び出せ!団塊フレンズ

「一人はみんなのために、みんなは一人のために」。 ただ今“夢実現街道”まっしぐら!

「ながさきダンカーズ」発刊以来、多くの団体に取材協力を頂きました。本誌各号特集で紹介したそれぞれの団体は、仲間とともに「夢」を形にしながら、地域に愛着をもって貢献し、元気に楽しく現在も活動を続けています。

NPO法人 ノモッチ(表紙写真)

長崎 あつと!さ@琴海

(旧「長崎琴海グリーンツーリズム研究会」)

もってこい長崎 レクリエーショングループお手玉の会

ながさき子ども劇場

長崎おもちゃ病院

約4年に渡ってお届けした本誌は、今回をもちまして最終号となります。そこで各号の特集に登場いただいた団体にその後の活動状況などをお聞きしました。

「ながさきダンカーズ」の特集記事を追い風に変えて

本誌創刊号で紹介したのは「NPO法人ノモッチ」。野母崎地区を中心に様々な活動をしている団体だ。代表の本村朋子さんによると、「4年前に取材してもらったおかげで、『ノモッチ』の活動内容を紹介するときに、ながさきダンカーズの特集記事のコピーを渡すことが多くなった」という。取材以後、コピーは全国各地のスポンサー候補へ配られ効果を上げている。さらに自前劇団「どんぐり一座」と吉本興業との夢のタイアップが実現。今年1月には長崎亭キョウちゃんぼん座長の「太め皿うどん一座」旗揚げ公演に参加協力した。ちなみにこれも、本誌特集記事がきっかけだったという。

今後も活動を通して「地域の子どもから大人まで元気になりたい!」というのがメンバー共通の思い。夢をメンバー全員の協力で実現させるパワーあふれる女性集団。本年結成11年目のノモッチは、現在進行形で“夢実現街道”を元気にそして賑やかにばく進中だ。



長崎 あつと!さ@琴海



NPO法人 ノモッチ



NPO法人 ノモッチ

新しい名前は

「長崎 あつと!さ@琴海」!

取材当時、会の名前は長崎琴海グリーンツーリズム研究会。しかし「我が組織で、何をやっていったら良いのかと、手探り状態だった」と代表・福岡洋典さんは取材時を振り返る。そんな中で取材依頼は、「活動を認めて貰えた気がして、会員みんなが嬉しく感じた」と語る。現在は、「地域おこしの実績もでき、『やればできる』との自信も。地域の元気、子供の元気を育むことのできる団体として飛躍したいと希望に燃えている」とのこと。

今後は、「琴海で暮らす人々、とくに子ども達に、郷土の誇りとどこにいても負けない強さを育んでいきたいと思う。また、琴海から巣立っていった人、訪れたことのある人に琴海の良さを再アピールして『楽しく暮らしていける住人』を増やしていきたいと夢を語った。

昔ながらの手遊びを地域の活力に変えて

2012年11月第4号で取材協力を頂いた、「もってこい長崎 レクリエーショングループお手玉の会」の代表・中島るり子さんは、取材時、「ながさきダンカーズ倶楽部に参加しているシニア世代の男性の頑張りには刺激を受けた。同時に第二の人生の道しるべとなった」という。



もってこい長崎
レクリエーショングループお手玉の会



もってこい長崎
レクリエーショングループお手玉の会



長崎 あつと!ば@琴海



長崎おもちゃ病院



ながさき子ども劇場



ながさき子ども劇場

昨年開催された「長崎ががんばらば国体」では、お手玉競技大会の運営という大役を経験。結果、会員同士の団結が強まり、現在、新たな取り組みに向けて準備中だという。将来訪れると予測される超高齢社会に向けて、お手玉とレクリエーションを通じて、元気なまちづくりに貢献したいと思っているそうだ。

取材から受けた学びを 次の目標に繋げて

「多くの方から『載ってたね!』と声をかけられた。会のことを人に伝えることの難しさを痛感していた時期のながさきダンカーズ掲載は、知って頂く機会になり、ありがたかったし、勉強になった」と語るのは、「ながさき子ども劇場」代表の鈴木郁子さん。2013年11月からスタートした乳幼児部では、若い母親同士で、お互いの子どもを見守ることのできる関係が出来てきたそう。

現在、「次はなにやろうか!」とアイデアを出し合いながら楽しんでいて、この輪が拡がっていくといいなあ、と思っているとか。子どもたちが自分を大事にし、のびのびと安心して育っていくには、「当会のような自主的な活動と仲間が大切。時間も手間もかかるが地道に、横に、縦に、つながりを広げていきたい。また、子どもから団塊世代まで新しい参加者を増やすために、『伝える、伝わる』発信を工夫していきたい」と話してくれた。

活字媒体の影響力に 驚きと感謝

「長崎おもちゃ病院」の坂本靖夫代表は、ながさきダンカーズ掲載後の影響の大きさを「長崎おもちゃ病院の広報・宣伝に大きな働きをしてくれたものと感謝している」と語る。設立以来3年が経過し、現在も順調に活動中。おもちゃ病院の開催は累計で54回を数え、昨年は年間700件のおもちゃ修理依頼を受けた。メンバーの増強に努めた結果、仲間は35名に増えたそう。しかし一方で、技術レベルがまだ充分でない、活動の拠点がないため開催日や会場が一定しないなど、今後の課題も抱えているのだそう。

そんな中でも「おもちゃ修理の活動は、子供達にモノを大切にすることを伝える。また、シニア層の方々にやさやかな社会活動の場を提供するなどの他に、おもちゃのリユースやリサイクルの輪を広げることによって、環境問題の改善にもつながると思う。今後とも『仲良く、愉しく』をモットーに、この活動を続けていきたいと力強く語ってくれた。



長崎おもちゃ病院



ギャラリーEM 代表
西村江美子さん
 にしむら え み こ
 (63歳)

うちの画廊は作家さん達に恵まれ、いい関係を築いています。著名な作家さんほど謙虚です。展覧会スケジュールは次々に決まっているので、約束は果たさなければいけません。そのために頑張っています。



みんなが「あつ」と驚くような人の個展を長崎で 小林健二作品との出会いがオープンの決め手

長崎港にほど近い出島道路出入り口のすぐそばに建つ、サーモンピンクの斬新なビル。その2階にある現代アートを紹介する画廊「ギャラリーEM」のオーナーが西村江美子さんだ。

「10年前に水辺の森公園に隣接する県美術館ができて、周囲の景観が美しくなり、ここに画廊がないのはもったいないと思いました」

自ら画廊をつくりたいと思うようになったきっかけを、西村さんはこう話す。それまでは長崎に本物の画廊をオープンさせるのは現実的ではないとの足を踏んでいたようだ。

そんな西村さんにオープンを決意させたのは、現代アートの小林健二氏の作品との出会いだった。氏はアートの世界では、知る人ぞ知る存在。「どうせならばみんなが『あつ』と驚くような人の個展を長崎で開きたい。もし小林さんが個展開催のオフアアを受けてくれたら、画廊をオープンしよう」と決めていました。その思いが通じたのか、小林氏は事前に長崎に足を運び、気持ちよくオフアアを受けてくれることに。こうして平成20年6月「透明電

気集「小林健二展」がオープニング企画展を飾ることになった。「ギャラリーEM」という名前も小林氏が付けてくれた。

オープンしてよかったと思うのは「最初に小林さんの個展を開いたことで、次の作家へのオフアアがしやすくなったこと。「作家さんは知識が豊か。作家さんから学び、来てくださったお客様から学ぶ。勉強させてもらう出会いが多くなった」と、西村さんは話す。逆に苦労することは「長崎は現代アートが好きなの絶対数が少ない。マーケットがもっと大きければいい作家も呼べるし、他県からお客様も呼べる」と、西村さんは力説する。

最後に同世代へのメッセージをお願いした。

「自分がしたいと思うことがあれば、人生は1回しかないんで、やってみる。歳をとればとるほどやれなくなるので、ちよこつと飛んでみることでいい」

そう静かに語る西村さん。自身のこれからの抱負は「作品力のある作品を少しでも多く展示したいということ」なのだそうだ。

データ

ギャラリー EM (Gallery EM)
 長崎市常盤町1-8 明治商会ビル2F
 TEL/095-827-7602
 開廊時間 / 11~18時
 休館日 / 水曜日(祝日の場合は翌日)
<http://www.gallery-em.com>

今後の作品展開催スケジュール
 4月16日~30日 塚本猪一郎展
 5月9日~23日 釣谷幸輝・銅版画の世界



「まちなかダンカーズ」とはいきいきしたセカンドデビューを実践している団塊シニア世代をご紹介します。



元気な団塊シニア世代の合言葉 「ダンカーズしよっと?」

ダンカーズでは友人、姉、先生まで、
一度に見つけることができました

富永 ミユキさん
(69歳)



現在は、入院中の母の介護をしています。週に6日の病院通いは大変ですが、散歩コースのゴールに母がいると思って歩きます。93歳の母からは人生の終わり方を学んでおり、「いつかは自分も行く道なもの…」という心境です。「仕事があるから」と、許される事が多かった現役時代。仕事を辞めた今、社会に受け入れて貰えるのかと飛び込んだダンカーズでは、たくさんの出会いがありました。楽しさも難しさも人生勉強と、これからも楽しみに参加したいと思います。

無理せず、自分らしく
社会参加できることが喜びです

宮本 洋子さん
(71歳)



健康第一と思っていますので、閉じこもらず、講演会に出かけたり、自宅でミニガーデニングをして楽しみを見つけています。また、読書や短歌作りなどの趣味も、生活の良いアクセントになっているようです。変化の少ない日常ですが、結局、幸福は平凡な暮らしの中にあるのかもしれない。これからも日々の生活にリズムを付ける意味で、仲間と楽しいことを共有したいと願っています。ダンカーズの中での自分の役割として、皆さんが和む空気感を作りたいと思っています。

セカンドデビュー! これからの人生は
「もう」ではなく「まだ」の精神

松本 愛治さん
(62歳)



60歳で長崎市役所を定年退職する時、友人からダンカーズのことを教えて貰いました。とりあえず、という感じの入会でしたが、活動に参加する度に多くの出会いに恵まれました。昔からハーレーダビットソンでツーリングするのが趣味で、アメリカ横断が夢。それも含め、自分の中に「まだまだ!」という気持ちがあるうちに、様々な事にチャレンジしたいと思っています。経験の積み重ねも良いのですが、まだ経験していないことにウキウキできる日々を送りたいと思っています。

趣味もボランティアもダンカーズでの
出会いも、バランスとって楽しみたい

松尾 信之さん
(67歳)



趣味は旅行で、友人達と年に1回旅行をしています。男性2名、女性4名の珍道中は楽しく、飽きることなく22回になりました。ダンカーズには昨年入会。昔からやっている子ども会の世話や地域活動とは違うおもしろさがありますね。NBCラジオ「集まれ!飛び出せ!団塊フレンズ」の、スタジオセッティングのお手伝いをしていますが、生放送のおもしろさに驚いています。今後も地域活動、ダンカーズ、友人達との旅を楽しく続けられるよう、健康に気をつけてがんばります。



被爆した旧浦上天主堂を映像で再現。 プロジェクションマッピング事業へ募金を!

浦上天主堂
再現 プロジェクト



プロジェクションマッピングとは、建物をスクリーンにして、壁面へ映像を投影する手法。被爆70周年を迎える今年、8月6・8日夜、現浦上天主堂の正面壁面に、被爆直後の旧天主堂の映像が写し出される。フィクションではない、原寸大の過去の現実は、これを見るあらゆる世代の心に「疑似体験」として投影されるだろう。若い世代が投げかける、この平和活動への支援募金にぜひ、ご協力ください。

■募金の方法は、

- ①募金箱へ…市内約500店舗の飲食店に設置
- ②振り込み…ゆうちょ振替口座
[記号番号]00150-0-418864
[加入者名]浦上天主堂再現プロジェクト

浦上天主堂再現プロジェクト実行委員会
[お問い合わせ] TEL095-826-0860
長崎市中町2-16 TEKビル1F

地域で子育て応援

ファミリー・サポート・センターながさき「まかせて会員」募集!!

地域の中で、子育ての援助を受けたい人と援助を行いたい人が会員となって、自宅で子どもの預かりなどの一時的な子育ての助け合いを行う「ファミリー・サポート・センターながさき」を長崎市社会福祉協議会と長崎市保育会が運営しています。現在、自宅で子どもを預かることができる「まかせて会員」を募集しています。

※「まかせて会員」の登録には、「まかせて会員」養成研修(4日間合計13時間)の受講が必要で、年に3回程度実施しております。「まかせて会員」養成研修の日程は決まり次第広報ながさきでお知らせします。興味のある方は、ぜひご参加ください。

活動時には、1時間700円～900円の活動報酬があります。

[お問い合わせ]長崎市保育会 TEL095-829-7714または
長崎市社会福祉協議会 TEL095-829-6244
e-Kao 長崎市子育て応援情報サイト

長く元気で! ノルディックウォーク教室

ボールを使ったウォーキングで健康づくりをはじめましょう。

[対象者]20歳以上の市民

| | 日時 | 内容 |
|----|---------------------------------|----------------------------|
| 1回 | 5月9日(土) 14時～16時 | 実技 「はじめてのノルディックウォーク!」 |
| 2回 | 5月16日(土) 14時～16時 | 実技 「歩き方のポイントを学ぼう!(基礎編)」 |
| 3回 | 5月30日(土) 14時～16時 | 実技 「歩き方のポイントを学ぼう!(応用編)」 |
| 会場 | 長崎東公園コミュニティ体育館健康教室 長崎市戸石町194 | |

受講生募集!!



講師:長崎大学医学部保健学科
准教授 中垣内 真樹 氏

【募集人員】30名

【持ってくるもの】水分補給用ドリンク、タオル、着替え等、上履き
※ボールは貸し出します。

【参加費】無料

【申込方法】5月7日(木)までに電話
でお申し込みください。

定員を超えた場合は、抽選となる場合があります。

[お申し込み先]長崎市健康づくり課 TEL095-829-1154

未来の子どもたちに平和な地球を!

被爆地ナガサキから「平和情報発信」と「平和ネットワーク構築」を目指し活動しています。1995年歌手さだまさしが提唱、20年目の現在、会員・ボランティア980人が全国で活動しています。

企画展示開催・地域各種イベント参加

誰にでも出来る平和への取り組み、平和への第一歩です。あなたも是非参加して下さい。

NPOナガサキピーススフィア貝の火運動

「ナガサキピースミュージアム」

〒850-0921 長崎市松が枝町 7-15

[お問い合わせ] TEL095-818-4247

Web museum@nagasakips.com



長崎の町ねこ調査隊塾

2011年5月から長崎市内の町ねこの頭数や行動範囲などの調査をしています。メンバーは21人、20代から80代まで、少し女性が多いです。ねこを探しながら、町歩きをすると、今までとは違う長崎のまちが見えてきますよ。

こんな人に来て欲しい
まちなかを歩いている
「町ねこ」に興味がある。

まち歩きが好き
長崎のまちが好き



©Nagasaki machi neko club

【お問い合わせ】

携帯 **090-1874-7081** (中島)

tac510101@384.jp

ブログ <http://www.machineko.org/>

facebook に長崎の町ねこ調査隊塾のページがあります。

ながさきダンカーズ倶楽部

団塊シニア世代の
「仲間づくり」「出番づくり」「居場所づくり」
を応援するプラットホームに参加しませんか!

月例会のご案内

- ・日 時：毎月第3木曜日 18:00～20:00
- ・場 所：出島交流会館4階会議室(予定)
- ・参加費：500円
(終了後、自由参加の居酒屋
交流会あり。実費負担)
- ・入会金、会費なし。
だれでも参加できます。



【お問い合わせ】

携帯 **090-2557-4393** (井手)

ホームページ <http://www.dankers.justhpb.jp/>

ダンカーズ

検索

特定非営利活動法人 長崎出逢いのよつ葉会

中高年の伴侶探しのお手伝いです。
毎月交流会を行って、現在、40組の方が結婚、
またはおつき合っています。
「1人より2人です」

こんな人に来て欲しい
まじめに結婚を考えている方、
又は「仲のよいお友達を」と
思っている方。ぜひ一度、
おいで下さい!!



毎月第4日曜日

会費 食事が出て2000円

4月は雲仙日帰り旅行です。

【お問い合わせ】 TEL **095-882-7410**

携帯 **080-1744-5585** (山崎)

小さいのちと幸せを守る会

(猫の保護活動)



一緒に命を守る仲間を募集中!

大切な命を1つでも多く救いたい。殺処分ゼロを目指し、
捨て猫防止の啓蒙活動等・猫の世話を通じて親密な仲
間づくりを!!会員同士の親睦と交流を大事にしています。

パソコン、インターネットが得意な人、文章作成が得意な
人、平日に活動可の人、活動日に車を出せる人、一人ひとりか
ができる形で参加可能です。里親さん、一時預かり親さん、猫
の世話をしてくださるボランティアさん、どなたでも大歓迎。

会費 月1,000円 賛助会員可

【お問い合わせ】

TEL/FAX **095-850-0935**

携帯 **090-7920-3531** (大平)

<http://nyanyanoouchi.web.fc2.com>



2年目に突入! ラジオ生ワイド番組

「集まれ!飛び出せ!団塊フレンズ」

毎週土曜日のお昼、「中高年は地域の活力源」をキーワードに団塊
シニア世代の皆さんと一緒に楽しむラジオ生番組「団塊フレンズ」は
2年目に突入します。これまでの週がわりテーマは、「昔の遊び」「中
高年の食卓」「若者とピースを語ろう」「歌声喫茶」など、趣味や音楽から
社会派ものまで。今年も、第二の人生を楽しく豊かに過ごしていただくた
めのヒントを提供します。公開放送に加え地域に飛び出す電話
レポートで「頑張る中高年」の皆さんの声をホットにお伝えしていきます!



集まれ!飛び出せ!

■放送: NBC ラジオ

毎週土曜日 12:00~13:50

2011～2015「ながさきダンカーズ」の歩み

セカンドデビューきっかけづくりの情報誌として、地域で仲間と一緒に楽しく活動している市民活動団体、まちなかでアクティブな生き方を実践されている団塊シニア世代、そして元気なダンカーズの面々を毎号紹介してきました。創刊号からの歩みを、ご覧ください。



2011年9月 創刊号
「夢をホントにする」
「NPO法人ノモッチ」



2012年3月 第2号
セカンドライフの舞台は
琴海エリア
「長崎 あつと!さ@琴海」
旧長崎琴海グリーンサークルシニア研究会



2012年7月 第3号
中島川がつなく世代間交流
「長崎1634」



2012年11月 第4号
お手玉を追う視線は、いつも上向き
「もってこい長崎レクリエーション
グループお手玉の会」



2013年3月 第5号
子ども、青年たち、そして団塊の
オールジェネレーションで、
異世代交流を楽しむ
「ながさき子ども劇場」



2013年7月 第6号
おもちゃが治った時の子どもたちの
欢声と笑顔が何よりの報酬
「長崎おもちゃ病院」



2013年11月 第7号
さあ、サイコロ振って
長崎市から双六のスタート
「ながさき双六の会」



2014年3月 第8号
第二の人生(セカンドデビュー)を
より豊かなものに!
「ながさきダンカーズ・フェスタ」



2014年7月 第9号
「貯筋運動」～貯蓄するなら
お金より筋肉!
「長崎市西部総合スポーツクラブ」



2014年11月 第10号
オリーブ栽培のノウハウを
次の世代へ残したい!
「長崎オリーブ研究会」

ながさきダンカーズ通信

井上陽水の「桜三月散歩道」が好きです。♪町へ行けば風に舞う 町へ行けば風に舞う。桜の花舞う三月、情報誌「ながさきダンカーズ」は長崎市との事業契約が終了、今号で終刊となります。行政と市民団体が協働して団塊世代のための、団塊世代による情報誌の発行は、全国でも類を見ない「長崎団塊モデル」としてテレビや新聞で大きく取り上げられました。創刊以来、市民団体や元気な団塊世代、そして多くの市民から励ましの手援をいただき、私たちは育ってきました。今年、自立し新たなシニア世代フリーペーパー「ながさきダンカーズ」の発行を目指しま

す。4年間ありがとうございました。またお目にかかりましょう！（編集長）

春は別れと出会いの時期。一期一会の縁を大切に過ごしたつもりでも、最後は必ず訪れてくる。これが宿命ならば、またの再会を期して「ロンググッバイ」と声高らかに叫ぼう(M)

団塊世代へアピールするための定期刊行誌を作る、と決めた時、私は名前を付けました。その名前は「ダンカーズ」！戦後の社会をリードしてきた団塊世代への敬意を込めて。これからも、よろしく。(けい)

何かの終わりは、何かのスタートでもあり

ます。「ダンカーズ」は終刊となりますが、むしろ「ダンカーズ」の面々はいよいよ人生の佳境です。愉快で、充実した日々が待っています。ともあれ創刊以来、皆さまに深謝、拝。(Y.I)

ダンカーズが発行される頃にあぐりの丘でオリーブの植樹を行う、実がなるまでにはしばらく時間がかかるが、その日を楽しみに、団塊世代の仲間が老体にムチ打っての、(脳)作業が続く。夢の実現へ、出来ることから一歩ずつ。(N)

4年間本誌の刊行に関わり、同世代が地域で生き生き活動されている様子に触発された。一方、まだまだ戸惑っている知人も多い。セカンドライフには新しいシーンでの仲間づくりが必要。春が来た、とりあえず外に出よう！(O)

発行元

ながさきダンカーズについてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

特定非営利活動法人 新現役の会長崎センター／長崎市 市民協働推進室

〒850-0022 長崎市馬町21-1 TEL 095-829-1125

※ ホッチキス針にご注意ください。